

光葉ワーキングクラブメールマガジン

<2013年6月号>

75号 2013.06.03 配信

関東地方が梅雨入りしました。今年はレインブーツがブームです。雨の日を楽しめる工夫をして、梅雨を快適に過ごしたいものです。

同窓会本部では、横井新会長を中心に第40回光葉同窓会総会を無事に開催する事ができました。ありがとうございました。

ワーキングネットワークでは、夏以降の活動計画を考えています。たくさんの仲間に参加していただけるよう、楽しい企画を練っています！

■学園だより

●光葉博物館より 春の特別展開催のご案内

「2011. 3. 11平成の大津波被害と博物館－被災資料の再生をめざして－」

開放日時：5月15日(水)～6月22日(土) 10:00～17:00 *日曜日休館*入場無料

開催場所：研究館1階 光葉博物館展示室

●キャリア支援の取組が優秀事例として紹介されました (2013. 05. 22)

文部科学省「学生支援推進プログラム」に採択された就職支援『緊急課題への対応と実社会連携型キャリアビジョン育成プログラム (H21～23年度)』の取組が、全国465校の中から優秀校25校のひとつに選出され「優秀事例集」として日本学生支援機構HPに紹介されています。

http://www.jasso.go.jp/sien_suishinpro/yushujireishuh21.html

■同窓会だより

●『2013年度 第40回光葉同窓会総会』

日時：5月19日(日) 10:30～15:00

場所：学園本部館3階 大会議室・大学3号館 4階 4S02～4S05教室

来賓・恩師28名をお迎えし、参加者200名を得て盛大な総会になりました。

第1部 総会

○会長選挙報告(選挙管理委員長 天野寛子氏)

第19期会長選挙は光葉同窓会会則に則り、新会長横井千香子氏が選任されました。

○会長 横井千香子挨拶・新役員紹介(一部掲載)

オープン・フランク・イノベティブをモットーとし、同窓会活動を工夫して充実させて参ります。

① ワーキングネットワークの定着と発展

② 全国支部とより強い連携を持ちより良い支部をつくる。東京で新たな支部設立も準備中

③ 同窓会の広報活動の工夫と充実

以上3点を同窓会活動の目標とし、地域や社会全体に役立つ同窓会を目指して、飛躍・発展している学園にそって、共に歩んでゆきたいと思っております。どうぞ、よろしく願いいたします。

記念写真撮影

第2部 懇親会・昼食会

- ・ 恩師・来賓と同窓生が同席して懇談しながら昼食を楽しみました。

第3部 学生にもどろう（講義を聞きましょう!!）

- ・ 「近代住宅の魅力」 生活科学部環境デザイン学科・大学院 堀内 正昭 教授
- ・ 「化粧の科学」 グローバルビジネス学部ビジネスデザイン学科 梅屋潤一郎 教授
- ・ 「将来発生する大震災にどのように備えるか」
人間社会学部心理学科・大学院 清水 裕 准教授
- ・ 「安全な生活とは」 生活科学部管理栄養学 蔵楽 正邦 教授

【講義をして下さった先生方の感想】

ご高齢の卒業生が多かったですが、それだけに近代の住宅は、現役学生より身近な存在だったようで、皆さんしきりに頷いて聴講していました（堀内 正昭 教授）。

他の先生方からも、現役の学生さんよりも熱心に聞いて下さり、質問も活発であったという感想を頂きました。

【聴講された卒業生からの感想】

「将来発生する大震災にどのように備えるか」の授業に参加して

「皆様、これから清水裕先生の授業が始ります。起立、礼！」…人間社会学部心理学科・大学院の清水裕准教授の黄色いカードを持った同窓生が一斉にお辞儀をして、地震対策の授業が始まりました。地震災害、想定と想定外、備えや心理状態など清水先生の流暢な講義に思わず聞き惚れ、あっという間に時間が過ぎてしまいなんと実際に役立つ内容濃い楽しい時間だったことでしょう！同窓生一同すっかり学生気分になって有意義な講義を拝聴し若返りました。

（同窓会委員 中島正子）

●ワーキングネットワーク

○第1回ワーキングネットワーク委員会開催

日時：2013年5月25日（土） 12：00~14：00 場所：光葉同窓会室

1. 報告事項

- 1) 2012年3月30日（土）合同ワーキングの報告
- 2) 各ネットワーク報告

2. 協議事項

1) 2013年度活動計画

- ・ 小学校ネットワークは8月後半にイベント予定
- ・ ビジネスネットワークは「あなたの講演会（仮題）」を企画。自分の専門分野、得意分野の「ミニ講演会」をしませんか？メンバーが「話し手」「聞き手」になれる講演会です。
- ・ 『食』関連ネットワークは、2013年9月7日（土）シンポジウム開催に向け現在準備中
- ・ 中高校教職員ネットワークは現在企画

■ひろげよう光の葉

税所 妙子

1955年短期大学部食物科卒業 1957年文家政学部 生活科学科卒業

『第40回光葉同窓会総会に出席して』

平成25年5月19日、昭和女子大光葉同窓会に出席して、心は五十数年前の学生時代に戻り、80歳まで生きてきて、一番幸せな時代に戻ることができました。その日は同窓会の方々が粋な計らいを企画して下さり、「学生時代に戻ろう」をキャッチフレーズに、4人の教授の講義を用意して下さいました。ましてや、車椅子を押してくれた息子と一緒に机を並べ、母校の教授の授業を受けるなんて、夢にも思っておりませんでしたので、とても贅沢な時間を共有することができ、心より感謝致しました。又、私は「要介護2」の身で足腰が悪く、2本の杖をつけておりますので、息子が横浜から太子堂の女子大迄車で送ってくれ、用意して頂きました車椅子に乗り、息子が押してくれましたにも拘わらず、同窓会の係の方で後輩の山本浩子様が、初めから終わり迄介助して下さい心より感謝致しました。そして昭和女子大卒の方は、人に対する思いやりのある方が多くおられるのに気づき、嬉しく心より感謝致しました。

私は昭和32年に生活科学科を卒業し、実家の熊本で病院の栄養士として3年間勤め、やり甲斐のある仕事である事を実感致しました。その当時は「臨床栄養学」がございましたので、自分で「臨床栄養学」の雑誌を毎月買い求め、勉強しながら対応致しました。35年に結婚して横浜に来ました時、縁があり保土ヶ谷の保健所の栄養士として勤めました。この時も大学では学ばなかった「離乳食」の「相談」、「指導」、「講演」に困り、自分で勉強して対処、大変苦勞したことを思い出しました。

2年後、保健所を辞めて戸塚の公民館を借り「平戸学習塾」を始めました。中学生（英・数）、小学生（算・国）を対象に毎年60名近くの生徒がきてくれましたので、休みの日もなく、月曜から日曜迄、午後3時から夜9時迄、8年間続けました。出産を機に家庭に入りましたが、50歳の時主人が会社を立ち上げましたので、共に経営にあたり、73歳の時会社を閉じました。

3年間主人の介護をして黄泉（よみ）の国へ送り、何か「生き甲斐」をとっておりました時、NHK学園の「短歌添削教室（通信教育）」を知り短歌の勉強をはじめました。平成21年と22年、NHK全国短歌大会で入選し、平成22年7月には、「NHK学園」より入選者を対象に合同短歌集「さくら」（2,000円）を出版して頂きました。

こんなわけでこれからも短歌を作りながら残りの人生を前向きに歩いてゆきたいと思っているこのごろでございます。

「病みて^{みとせつま}三年夫の命燃えつきぬ延命装置を静かにはずす」

「夕暮に家路に急ぐ少年のペダル踏む^{なり}姿影絵の如し」 NHK全国短歌大会21年度入選歌（二首）

「^{くさばら}草原の若葉を素足にて踏めり^{あうら}足裏に触るる春は柔らか」

「小一の孫は鉄棒しかと持ち太陽を蹴りくるりと回る」 NHK全国短歌大会22年度入選歌（二首）

「この町に住みて^{いととせ}五十年朝々に路地を巡りて介護バス行く」

（2年前から主治医のすすめで、小規模多機能型介護施設に通い面倒を見てもらっています。そこの送迎バスでお世話になっておりますので、その様子を短歌にしてみました。） End